I-O DATA

MOC-U640

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

107383-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i・CONNECTおよびi・CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh, PowerBook, Mac, Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac, iBook, Power Macは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。


厳守

ACアダプタについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付または指定のACアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
- ●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。


禁止

内部をのぞきこまないでください。

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ハードディスクや MO ディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所



アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


厳守

本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。


厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。次ページ【本製品内部のクリーニングについて】をご参照ください。


禁止

本製品内部で結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。


禁止

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。


厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。


注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

使用上のご注意

●本製品からOSは起動できません。

本製品からのOS起動はサポートされておりません。

●本製品を長時間、連続で使わないでください。

本製品内部は書き込み時、かなり高温になります。そのため長時間、MOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
このような場合は、本製品を取り外して電源を切り、本製品をしばらく冷やしてください。その後、中断された処理を再び行ってください。

●本製品内部のクリーニングについて

空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。
なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。
日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。



推奨クリーニングキット

「Head CLEANER No.0240470」（富士通コワーコ株式会社）
住所　〒160-0023
東京都 新宿区西新宿 6-24-1　西新宿三井ビルディング
TEL/FAX　03-3342-5460/03-3342-5446
Web　http://www.coworco.fujitsu.com/

本製品の取り扱いについて

富士通株式会社の下記ホームページも併せてご覧ください。
http://mo.fujitsu.com/support/maintain/



上記クリーニングキットをお使いください

弊社では、上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合があります。ご注意ください。

●他のUSB機器を使う場合は、下記に注意してください。

・本製品の転送速度が遅くなることがあります。

・本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。
その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●MOディスクを取り扱うときは、下記に注意してください。

・MOディスク内部に直接触れないでください。
MOディスクが故障する原因となります。

・MOディスクのシャッターにラベルを張らないでください。
本製品、MOディスクが故障する原因となります。

・ラベルを2重3重に重ねて張らないでください。
本製品内部ではがれ、故障の原因となります。

●640Mバイト以上のMOディスクは圧縮ドライブとして使わないでください。

●MOディスクに「ディスクコピー」を使わないでください。

Windowsの「ディスクのコピー」は、MOディスクに対応していません。エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなります。

●MOディスクの読み書き中は、下記に注意してください。

・MOディスクを取り出したり、パソコンや本製品の電源を切らないでください。
記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使えなくなる場合があります。

・パソコンを省電力モードにしないでください。
MOディスク内のデータが破損する原因となります。



省電力モード
スタンバイ/休止/スリープなどを指す。

●本製品を設置・使用するときは、電波障害に注意してください。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	MOC-U640
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System,
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me/98
Mac OS 8/9	Mac OS 8.6～9.2.2
Mac OS X	Mac OS X 10.1～10.1.2
Mac OS	Mac OS 8/9,Mac OS X

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に ix
もくじ x

はじめに **1**

箱の中には 2
動作環境 4
各部の名称・機能 5
添付品を取り付けよう 7
お使いのOSは？ 8

Windowsでお使いの場合 **9**

インストールしよう① 10
インストールしよう② 13
接続しよう 17
確認しよう 19
基本操作について 24

Mac OSでお使いの場合 **37**

インストールしよう(Mac OS 8/9のみ) 38
接続しよう 41
確認しよう 42
基本操作について 44

付録 **53**

困った時には 54
権限変更 67
サポートソフトの削除 74
用語解説 80
ハードウェア仕様 81

サポートセンターへのお問い合わせ 82
サポートソフトのバージョンアップ 83
修理について 84

Memo

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・5

スイッチなどの名前と機能を説明します。

添付品を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

添付品を取り付ける方法を説明します。

お使いのOSは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・8

お使いのOSに合ったページを案内しています。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

箱・梱包材は

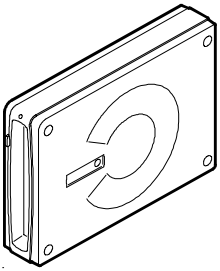
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

□ **MOドライブ(1個)**

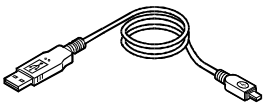
［MOC-U640］



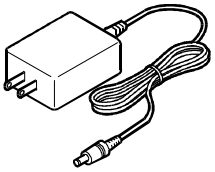
□ **ラバーフット(4個)**［横置き用］



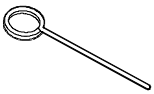
□ **USBケーブル(1本)**［約1m］



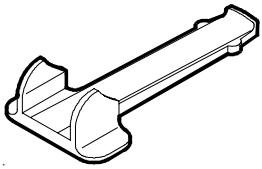
□ **ACアダプタ(1個)**



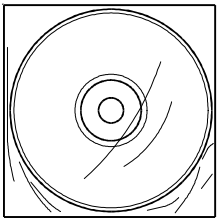
□ **強制イジェクト・ピン(1本)**



□ **スタンド(1個)**［縦置き用］



☐ **MOCシリーズサポートソフト(１枚)**



・USBドライバ
・Windows XP用MOドライバ
・Windows 2000用MOユーティリティソフト
・MOシリーズサポートソフト
・B'sCrew mini (Mac OS 8/9のみ対応)
・RINGOWIN LE

☑ **MOC-U640取扱説明書(本書：１冊)**

☐ **ハードウェアシリアルNo.シール(１枚)**

☐ **ハードウェア保証書(１枚)**

☐ **ユーザー登録カード(１枚)**

☐ **ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ(１枚)**

参考

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

Mac OS 8/9をお使いの方は･･･
「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」でユーザ登録してください。
登録方法は「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」に記載されています。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品を接続できるUSBポートがあること
※弊社製USBインターフェイスボード「USB2-PCI2」、「USB2-PCIL」、「USB-PCI」などを装着した機種でもご利用いただけます。

・インストール時にCD-ROMドライブがあること

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※1※2※3	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SE, Windows 98
iMac, iMac DV, iBook PowerMac G4 Cube, PowerMac G4 PowerMacintosh G3※4 PowerBook G4, PowerBook G3※5	Mac OS 8.6～9.2.2 Mac OS 10.1～10.1.2

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　次の機種(2002年4月末現在)では、本製品を使えません。
東芝製 DynaBook SS PORTEGE6000、DynaBook Satellite2520シリーズ
SOTEC製 e-note M260TX2, M260TX3

※3　COMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。
詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。

※4　Blue & White以降

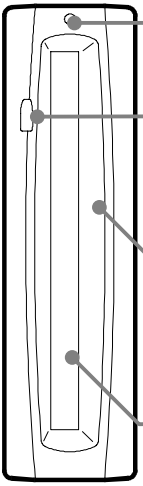
※5　Bronze keyboard以降

各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認をします。

MOドライブ(MOC-U640)

●前面



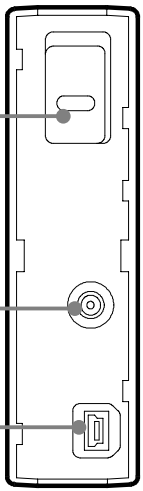
電源ランプ
電源が入ると、緑色に点灯します。

アクセスランプ・イジェクトボタン
読み書き中は緑色に点灯します。
これを押すと、Mac OSでお使いの場合を除いてMOディスクを取り出せます。
絶対に、点灯中には押さないでください。

強制イジェクトホール
MOディスクを強制的に取り出します。
通常は使わないでください。

MOディスク挿入口
MOディスクを挿入するところです。

●背面



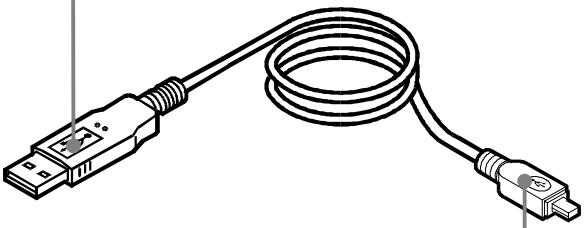
電源スイッチ
本製品の電源を入れます。
（上側：ON　　下側：OFF）

DC端子
ACアダプタを接続します。

USBポート
添付のUSBケーブルを接続します。

USBケーブル

USBコネクタ（Aタイプ）
USBポートに接続します。

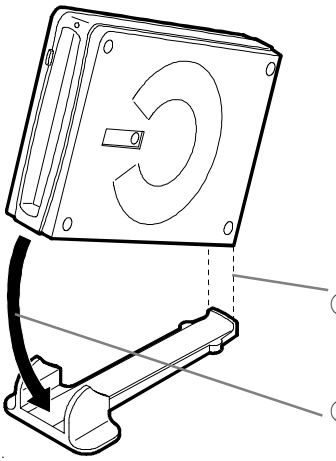


USBコネクタ（miniBタイプ）
MOドライブのUSBポートと接続します。

添付品を取り付けよう

添付品の取り付けについて説明します。

縦置きで使う　～スタンドの取り付け～

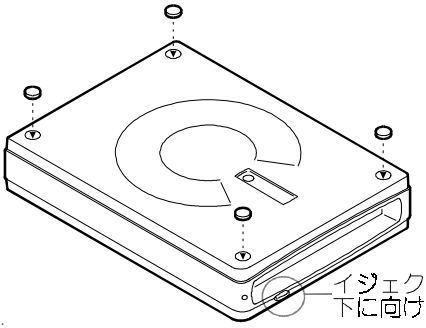


①MOドライブを斜めに差し入れ、スタンドの後ろと合わせます。

②MOドライブを、弧を描くように前に倒します。

横置きで使う　～ラバーフットの取り付け～

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。



イジェクトボタンを下に向けて置きます。

お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Windows	【Windowsでお使いの場合】	次ページ
Mac OS	【Mac OSでお使いの場合】	37ページ

Windowsでお使いの場合

インストールしよう① ・・・・・・・・・・・・・・・・10

USBドライバをインストールする手順を説明します。

インストールしよう② ・・・・・・・・・・・・・・・・13

MO用ソフトウェアをインストールする手順を説明します。

接続しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・17

本製品の接続について説明します。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・19

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・24

本製品を使う上での操作について説明します。

インストールしよう①

USBドライバをインストールする手順を説明します。

まだ本製品を接続しないでください
本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。
【接続しよう】(17ページ)で接続します。

Windows XPとWindows 2000の場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

CDメニューを表示する

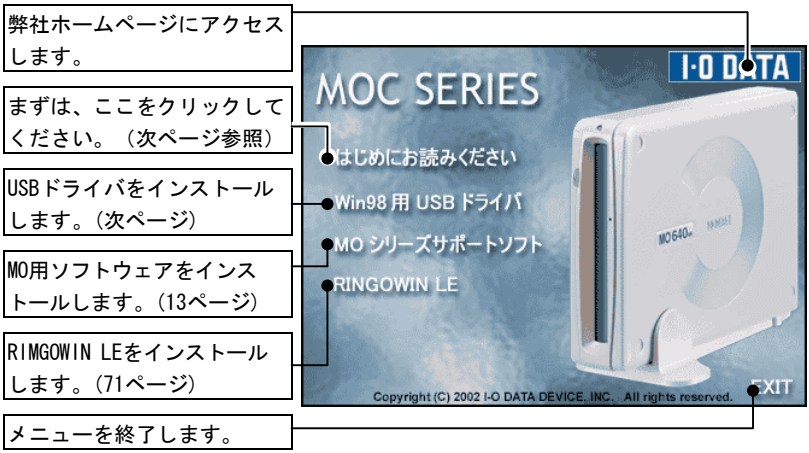
1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 「MOCシリーズサポートソフト」を挿入します。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

■例　Windows 98の場合



自動的にCDメニューが表示されない場合は
「MOCシリーズサポートソフト」の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。

補足情報を読む

［はじめにお読みください］ボタンをクリックし、補足情報を表示します。
補足情報をしっかり読んだ後で、ボタンをクリックして閉じてください。

USBドライバをインストールする

●Windows XP/2000/Meの場合

本製品を使うために、USBドライバを必要としません。
【インストールしよう②】(13ページ)へお進みください。

●Windows 98の場合

本製品を使うために、USBドライバが必要です。
下記手順を行ってください。

1 ［Win98用 USBドライバ］ボタンをクリックします。

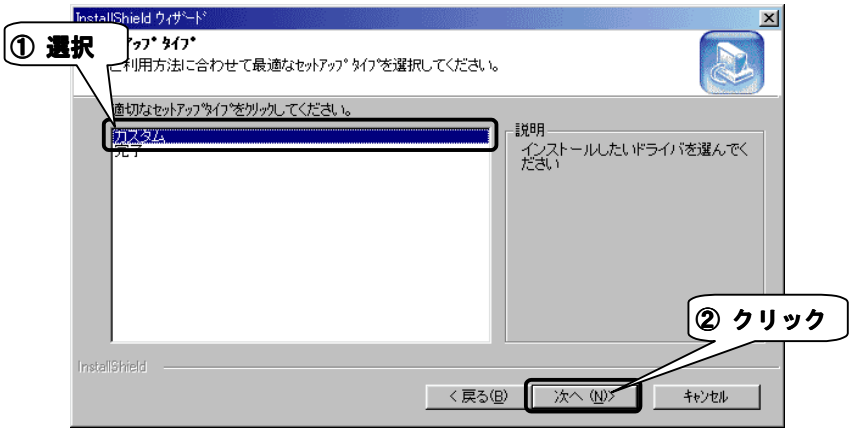
2 ［次へ］ボタンを２回クリックします。

3 ［完了］ボタンをクリックします。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［カスタム］を選びます。

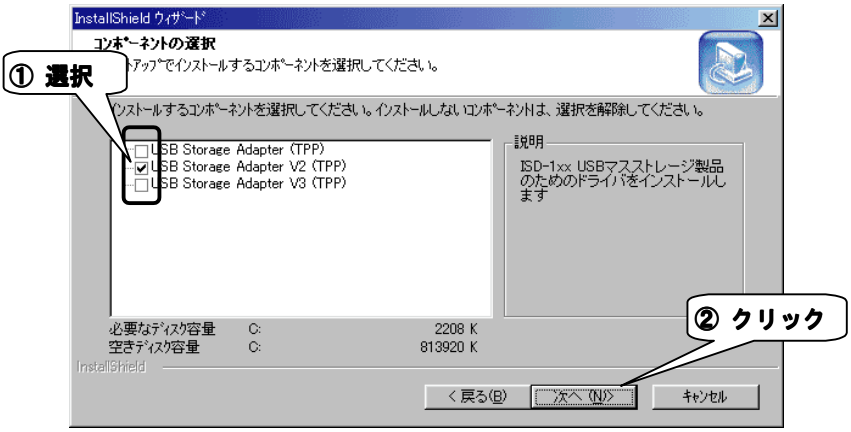
［カスタム］を選び、［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［USB Storage Adapter V2(TPP)］のみを選びます。

［USB Storage Adapter V2(TPP)］以外のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。

⇒自動的にUSBドライバがインストールされます。



7 ［完了］ボタンをクリックします。

⇒パソコンは再起動されます。

USBドライバは、インストールされました。
次は、MO用ソフトウェアをインストールします。
次ページをご覧ください。

インストールしよう②

MO用ソフトウェアをインストールする手順を説明します。



MO用ソフトウェア

Windows XP	Windows XP用MOドライバ
Windows 2000	Windows 2000用MOユーティリティソフト
Windows Me/98	MOシリーズサポートソフト

この作業はCDメニューが表示されていることが前提です

【CDメニューを表示する】(10ページ)をご覧になり、CDメニューを表示してください。

手順	
Windows XPの場合	本ページ
Windows 2000の場合	次ページ
Windows Me/98の場合	15ページ

Windows XPの場合

本製品を使うために、MO用ソフトウェアが必要です。
下記手順を行ってください。

1 **[Windows XP用MOドライバ]をクリックします。**

2 **[次へ]ボタンをクリックします。**

3 **[インストール]ボタンをクリックします。**

4 **[完了]ボタンをクリックします。**

5 **[はい]ボタンをクリックします。**
⇒パソコンは再起動されます。

MO用ソフトウェアは、インストールされました。
これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。17ページをご覧ください。

Windows 2000の場合

本製品を使うために、MO用ソフトウェアが必要です。
下記手順を行ってください。

1 **［Windows 2000用MOユーティリティソフト］をクリックします。**

2 **［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **［次へ］ボタンをクリックします。**

4 **［インストール］ボタンをクリックします。**

5 **［完了］ボタンをクリックします。**

6 **［はい］ボタンをクリックします。**
⇒パソコンは再起動されます。

MO用ソフトウェアは、インストールされました。
これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。17ページをご覧ください。

Windows Me/98の場合

本製品を使うために、MO用ソフトウェアが必要です。
下記手順を行ってください。

1 [MOシリーズサポートソフト]をクリックします。

2 Windows Me/98 SEでは、下の画面が表示されます。

弊社製IEEE 1394 MOドライブをお使いかどうかでクリックするボタンが変わります。

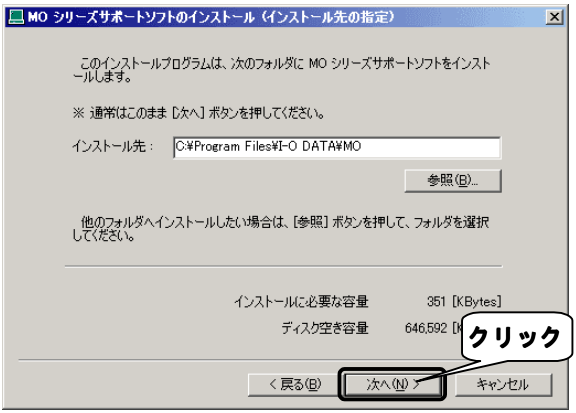
お使いの場合　　[はい]ボタンをクリックします。
お使いでない場合　[いいえ]ボタンをクリックします。



エラー画面が表示された
[OK]ボタンをクリックし、本手順を最初から行ってください。
その際、手順2では[いいえ]ボタンをクリックします。

3 [次へ]ボタンをクリックします。

4 [次へ]ボタンをクリックします。



インストール先のフォルダを替えたい場合
［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

［インストールに必要な容量］について
「インストールに必要な容量」の表示は、お使いのOSによって異なります。

5 下のような画面が表示される場合は･･･

［はい］ボタンをクリックします。



6 ［設定完了］ボタンをクリックします。

7 ［完了］ボタンをクリックします。

8 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

MO用ソフトウェアは、インストールされました。
これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。次ページをご覧ください。

接続しよう

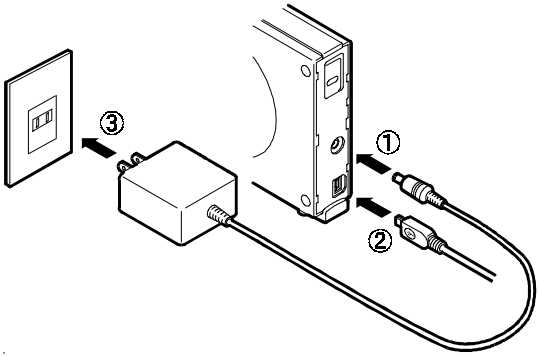
ここでは、本製品の接続について説明します。

1 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。

②「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「MOドライブのUSBポート」にまっすぐに接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



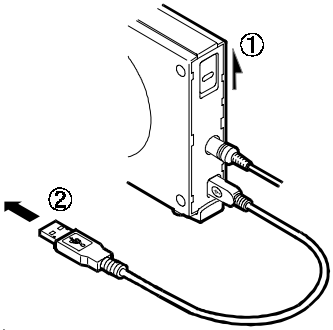
2 本製品をUSBポートに接続します。

①電源スイッチを「ON」にします。

⇒電源ランプが点灯します。

②「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をパソコンのUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



はじめて本製品を接続した場合は
「新しいハードウェア」などの画面が表示され、しばらくすると消えます。

［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない
［キャンセル］ボタンをクリックし、本製品をUSBポートから取り外します。その後、再び【インストールしよう①】(10ページ)から作業を行ってください。

本製品は接続されました。
次は、正しく作業をできたか確認します。

確認しよう

ここでは、本製品が使えるかどうかを確認します。

共通の確認事項

1 本製品以外の取り外し可能な機器を全て取り外します。

2 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
②［システム情報を表示する］をクリックします。

Windows 2000/Me/98の場合

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 「デバイスマネージャ」を開きます。

Windows XP/2000の場合

①［ハードウェア］タブをクリックします。
②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

Windows Me/98の場合

［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 ［種類別］の表示にします。

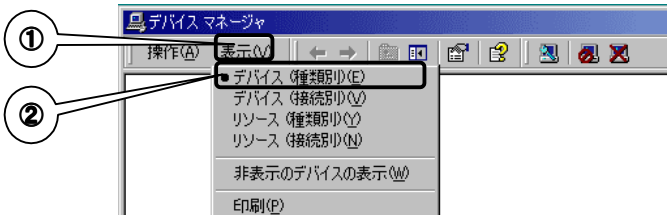
Windows XP/2000の場合

［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。

Windows Me/98の場合

［種類別に表示］を選択します。

Windows XP/2000の場合



Windows Me/98の場合



5 確認します。

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］か、
［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

②USBコントローラを確認します。
※USBコントローラは、お使いのパソコンによって表示が異なります。

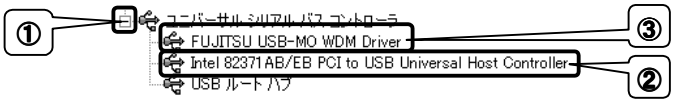
③本製品のドライバを確認します。

Windows XP/2000/Me	［USB大容量記憶装置デバイス］
Windows 98	［FUJITSU USB-MO WDM Driver］
	または［USB Strage Adapter V2（TPP）］

Windows XP/2000/Meの場合



Windows 98の場合



USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

本製品のドライバに［!］が付いている
もう一度【インストールしよう①】(10ページ)の手順を行ってください。

本製品のドライバがない
【接続しよう】(17ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります
その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

6 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

7 本製品のアイコンを確認します。

［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。
⇒これが本製品のアイコンです。



［リムーバブルディスク］アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(55ページ)をご覧ください。

［光磁気ドライブ］などのアイコンになる
環境によっては、他のアイコンで表示されることがあります。
なお、他のアイコンで表示されても、正常に動作いたします。

Windows XP の場合は、次ページの【Windows XP の場合の確認事項】も行ってください。

Windows XPの確認事項

1 「マイコンピュータ」を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

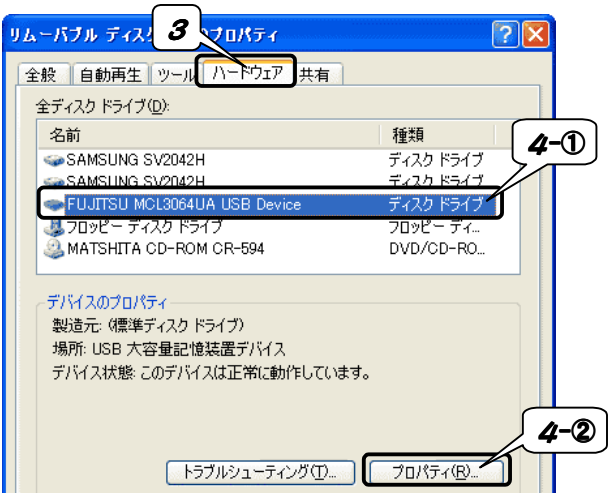
2 リムーバブルディスクのプロパティを開きます。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［ハードウェア］タブをクリックします。

4 本製品を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本製品の表示をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。



本製品の表示

「FUJITSU MCx3xxxUA USB Device」と表示されます。

※ xには英数字が入ります。

上記画面内の[FUJITSU MCL3064UA USB Device]は表示例です。

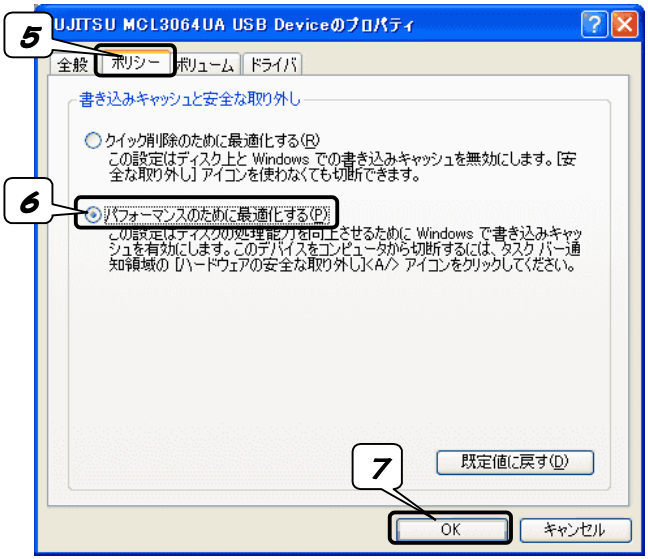
5 **［ポリシー］タブをクリックします。**

6 **［パフォーマンスのために最適化する］を確認します。**

［パフォーマンスのために最適化する］が選択されていない場合、選択します。

7 **［OK］ボタンをクリックします。**

⇒本製品のプロパティが閉じられます。



8 **［OK］ボタンをクリックします。**

9 **［キャンセル］ボタンをクリックします。**

⇒［リムーバブルディスクのプロパティ］が閉じられます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	
本製品を接続する	27ページ
本製品を取り外す	
MOディスクの操作	28ページ
MOディスクをフォーマットする	29ページ

本製品の電源を入れる

● 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に動かします。

②電源ランプが点灯したことを確認します。



電源を入れるタイミングについて

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでも本製品の電源を入れられます。

本製品の電源を切る

●パソコン→本製品の順に電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(28ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。

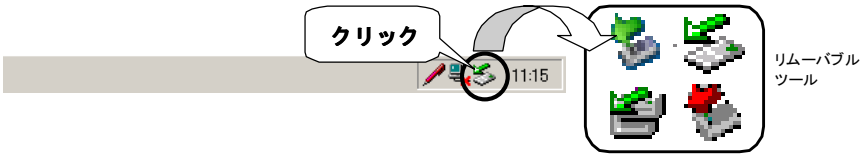
②電源ランプが消えたことを確認します。

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(28ページ)をご覧ください。

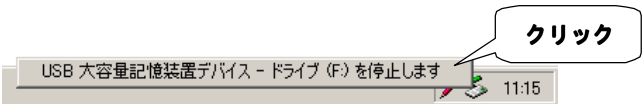
2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



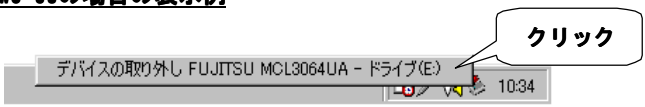
3 本製品の表示をクリックします。

複数の取り外し可能な機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

Windows 2000の場合の表示例



Windows 98の場合の表示例



参考

Windows 98での本製品の表示

「デバイスの取り外し FUJITSU MCx3xxxUA-ドライブ (E:)」と表示されます。

※ xには英数字が入ります。

上記画面内の[FUJITSU MCL3064UA]は表示例です。

または、「デバイスの取り外し USB Strage Adapter V2 (TPP) -ドライブ (E:)」と表示される場合があります。

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

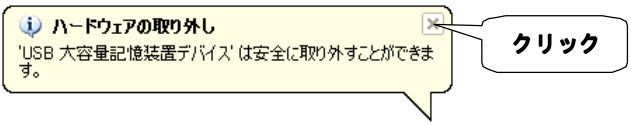
①使っているソフトウェアを全て終了します。

②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→本製品の順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 メッセージを確認します。

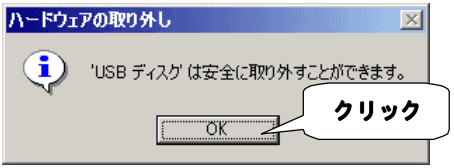
Windows XPの場合



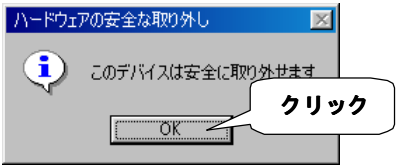
Windows 2000の場合



Windows Meの場合



Windows 98の場合



5 本製品をUSBポートから取り外します。

6 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。
②電源ランプが消えたことを確認します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

操作は、【本製品の電源を入れる】(24ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(24ページ)をご覧ください。

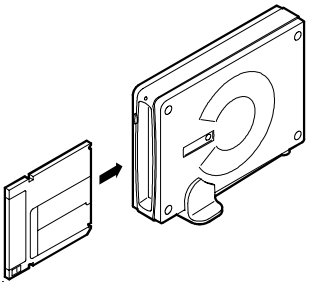
2 本製品をUSBポートから取り外します。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。

MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(57ページ)をご覧ください。

MOディスクをフォーマットする

MO ディスクは、ご購入持にすでにフォーマットされている場合があります。その場合は、フォーマットの必要はありません。



フォーマットすると、データはすべて消去されます

MOディスクに必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

手順	
●Windows XPの場合	本ページ
●Windows 2000の場合	32ページ
●Windows Me/98の場合	34ページ

●Windows XPの場合

コンピュータの管理者グループに属するユーザーのみフォーマットすることができます。



すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は

【権限変更】(67ページ)をご覧になり、ローカルポリシーの設定を［Administrators と Interactive Users］に変更してください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合は

そのMOディスクを使わないでください。

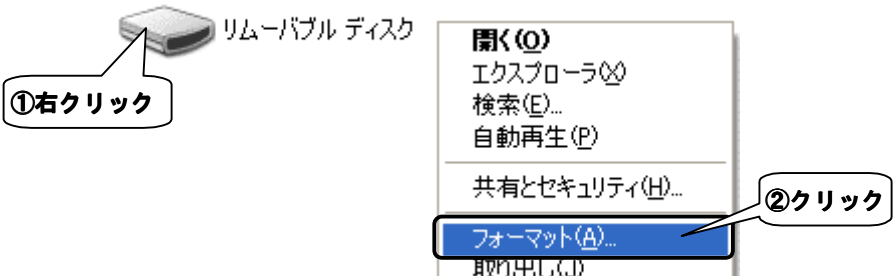
1 フォーマットしたいMOディスクを挿入します。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

3 「フォーマット」を起動します。

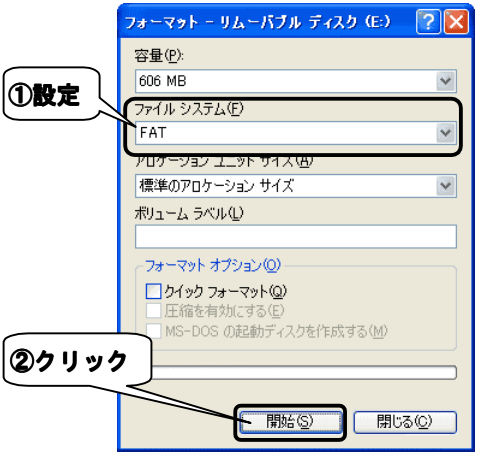
①［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックします。
⇒メニューが表示されます。
②メニュー内の［フォーマット］をクリックします。



ファイルシステムの［NTFS］は使わないでください
MOディスクを正しく使うことができません。

4 フォーマットの設定をします。

①［ファイルシステム］を設定します。
②［開始］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが開始されます。



参考

［ファイルシステム］の設定

［FAT］　：通常、この方式をお使いください。

［FAT32］：この方式でフォーマットされたMOディスクは古いWindows 95などで見ることができません。

［NTFS］　：設定しないでください。

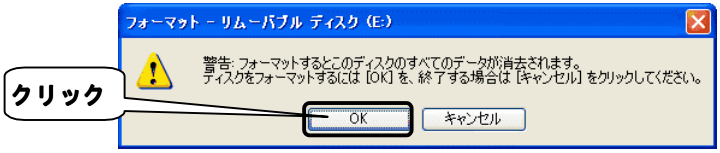
［クイックフォーマット］

これにチェックをつけると、一度フォーマットされているMOディスクを素早くフォーマットできます。

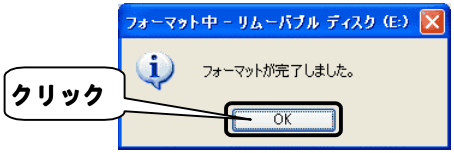
5 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。



6 ［OK］ボタンをクリックします。



7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上で、MOディスクはフォーマットされました。

●Windows 2000の場合

Administrator グループに属するユーザーのみフォーマットできます。

ユーザー権限の場合

フォーマットを正常に行うため、本製品は、電源を入れた状態でパソコンに接続してください。その後、パソコンの電源を入れてください。
フォーマットが正常でない場合は、一度Administratorグループに属するユーザーでログオンしなおすか、パソコンを再起動して、再度フォーマットしてください。

すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は

【権限変更】(67ページ)をご覧になり、権限を［全てのユーザー］に変更してください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合は

以下の手順の「MOディスクフォーマッタ」で物理フォーマットをすることにより、再び使うことができる場合があります。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

3 本製品を選びます。

本製品の表示

「FUJITSU MCx3xxxUA」と表示されます。
※ xには英数字が入ります。

4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。

選択できるフォーマット形式

・フロッピィ形式(FAT16)　・フロッピィ形式(FAT32)
・ハードディスク形式(FAT16)　・ハードディスク形式(FAT32)

通常は、「フロッピィ形式（FAT16）」でフォーマットしてください。

(FAT32)のフォーマット形式でフォーマットしたMOディスク

MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSでは読み書きできません。

通常、［物理フォーマット］にチェックは要りません

物理フォーマットには時間がかかります。

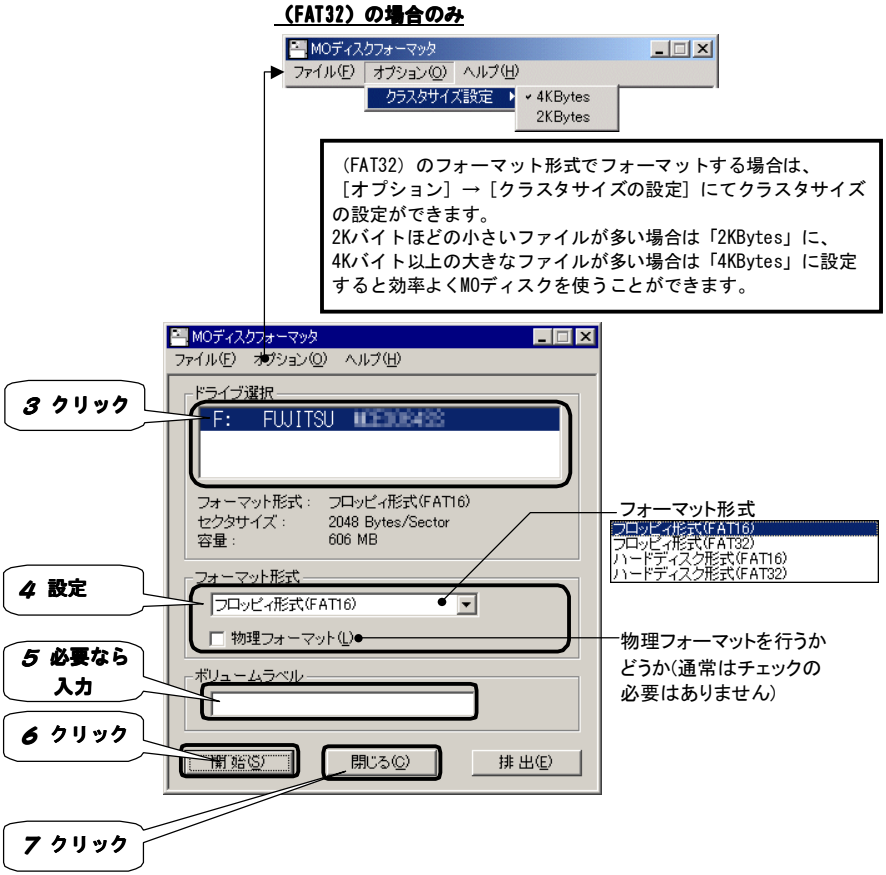
5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

6 ［開始］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが始まります。

7 作業が終わったら、［閉じる］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットは終了です。



●Windows Me/98の場合

Mac OSとデータを交換するためのフォーマットについて
【Windows Me/98とMac OSでのデータ交換】(72ページ)をご覧ください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクを使わないでください。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

操作は、【●MOディスクを挿入する】(28ページ)をご覧ください。

いきなり手順3の画面になることがあります。
その場合は、手順3にお進みください。

2 [MOフォーマット]を起動します。

「マイコンピュータ」内の[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックし、表示された「MOフォーマット」をクリックします。

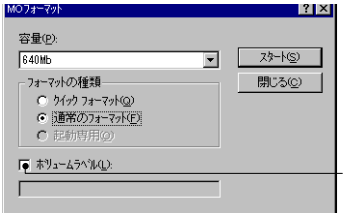


[MOフォーマット]が表示されない
【「MOフォーマット」が表示されない】(61ページ)をご覧ください。

[MOフォーマット]と[フォーマット]が同時に表示される場合
問題無くお使いいただけます。[MOフォーマット]をクリックしてください。
[フォーマット]では、フォーマットしないでください。

3 設定を選び、[スタート]ボタンをクリックします。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



ここにチェックするとボリューム
ラベルを入力できます。

参考

フォーマットの種類

クイックフォーマット

一度フォーマットしたことのあるMOディスクの場合に選びます。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、選ばないでください。

通常のフォーマット

購入直後の（フォーマットされていない）MOディスクの場合に選びます。

起動専用

選択しないでください。
本製品に挿入したMOディスクから起動することはできません。

4 フォーマット後、［閉じる］ボタンをクリックします。

フォーマットが終了すると、MOディスクが取り出され、フォーマット結果が表示されます。
確認後、［閉じる］ボタンをクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

参考

フォーマット後は

フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをおすすめします。

以上で、MOディスクはフォーマットされました。

Memo

Mac OSでお使いの場合

インストールしよう(Mac OS 8/9のみ) ……38

USBドライバをインストールする手順を説明します。

接続しよう ……41

本製品の接続について説明します。

確認しよう ……42

本製品が使えるようになったか確認します。

基本操作について ……44

本製品を使う上での操作について説明します。

インストールしよう(Mac OS 8/9のみ)

USBドライバをインストールする手順を説明します。

まだ本製品を接続しないでください

本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。
【接続しよう】(41ページ)で接続します。

Mac OS Xの場合

本手順は必要ありません。
【接続しよう】(41ページ)へお進みください。

1 Mac OS 8/9を起動します。

パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

2 「MOCシリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOCシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。
⇒自動で「MOCシリーズサポートソフト」の中が表示されます。

自動で開かなかった場合は・・・

デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン（MOC_xxx：xxxには数字が入ります）をダブルクリックしてください。

3 [B'sCrew mini Installer]をダブルクリックします。

[B'sCrew mini]→[B'sCrew mini Installer]の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック

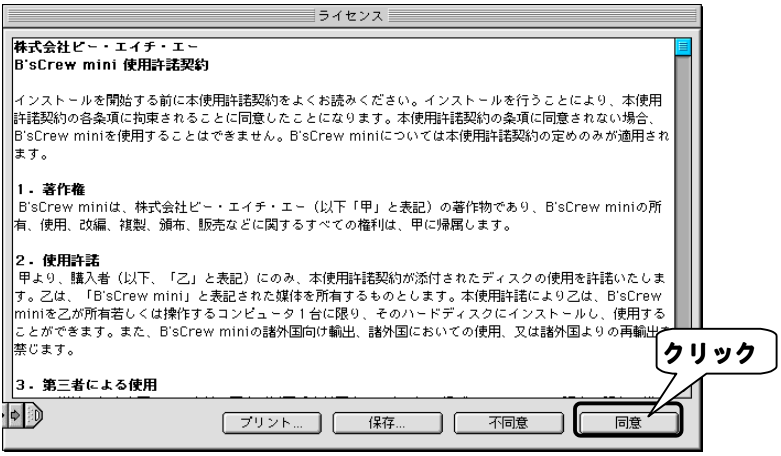


4 [インストールの前に]を読みます。

読み終わりましたら、左上のボタンで閉じてください。

5 ［ライセンス］を読み、同意するかどうか決定します。

内容に同意するなら、［同意］ボタンをクリックします。



ライセンスについて
本製品を使うには、ここで同意する必要があります。

6 ［続ける］ボタンをクリックします。

7 ［インストール］ボタンをクリックします。

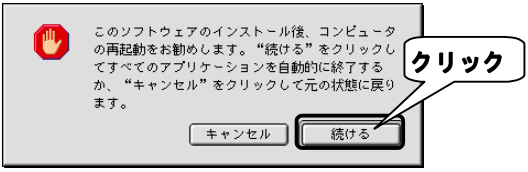
内容に同意するなら、［同意］ボタンをクリックします。



インストールする場所を変えたい場合は
［インストールの場所］を設定してください。

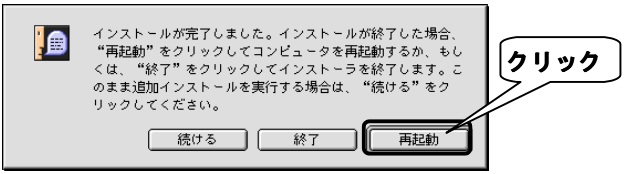
8 ［続ける］ボタンをクリックします。

⇒［B'sCrew mini］がインストールされます。



9 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。



これで本製品は使えるようになりました。
次は、本製品を接続します。次ページをご覧ください。

接続しよう

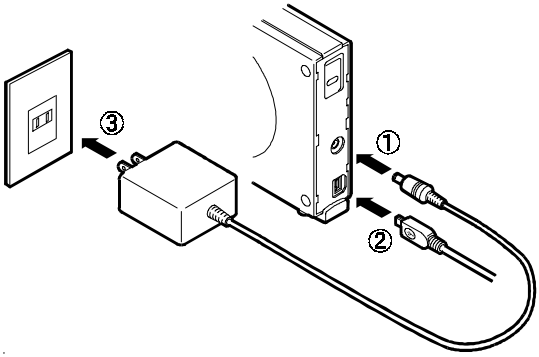
ここでは、本製品の接続について説明します。

1 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。

②「USBケーブルのUSBコネクタ（miniBタイプ）」を、「MOドライブのUSBポート」にまっすぐに接続します。

③ACアダプタを電源コンセントに接続します。



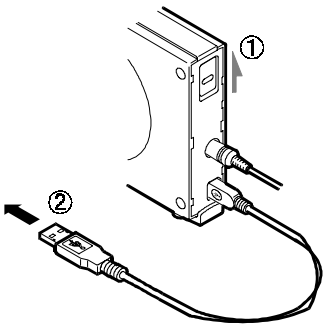
2 本製品をUSBポートに接続します。

①電源スイッチを「ON」にします。

⇒電源ランプが点灯します。

②「USBケーブルのUSBコネクタ（Aタイプ）」をパソコンのUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



本製品は接続されました。次は、正しく作業をできたか確認します。

確認しよう

ここでは、本製品が使えるかどうかを確認します。

1 本製品以外のUSBストレージを全て取り外します。

参考

「ストレージ」とは？
ハードディスク、MOドライブなどの記憶装置のこと。

2 パソコンの電源を入れます。

パソコンの電源がすでに入っている場合は、次へお進みください。

3 本製品にMOディスクを挿入します。

参考

MOディスクが初期化されていない場合
初期化の画面が表示されます。
詳しくは、【MOディスクを初期化する】(48ページ)をご覧ください。

4 MOディスクのアイコンが表示される事を確認します。

デスクトップ上にMOディスクのアイコンが表示されます。




注意

アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(55ページ)をご覧ください。

5 「Apple System Profiler」を開きます。

Mac OS Xの場合

①起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。
②［アプリケーション］ボタンをクリックします。
⇒［Applications］が開かれます。
③［Utilities］フォルダー→［Apple System Profiler］の順にダブルクリックします。
⇒［Apple System Profiler］が起動されます。

Mac OS 8/9の場合

［アップルメニュー］→［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

6 ［デバイスとボリューム］タブをクリックします。

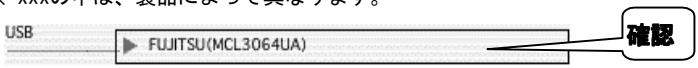
※[装置とボリューム]と表示されている場合がありますが、同様にクリックします。

7 本製品を確認します。

Mac OS Xの場合

［USB］の横に［FUJITSU(MCx3xxxUA)］があることを確認します。

※ xxxの中は、製品によって異なります。



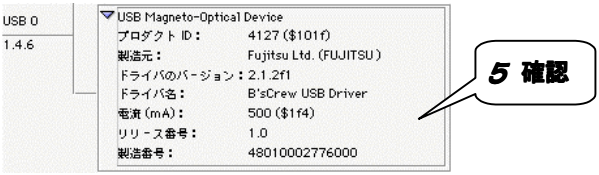
［FUJITSU(MCx3xxxUA)］がない

【接続しよう】(41ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

Mac OS 8/9の場合

［USB x］の中に［USB Magneto-Optical Device］または［USB Strage Adapter］があることを確認します。

Mac OS 9.1の例



［USB Magneto-Optical Device］または［USB Strage Adapter］がない

【接続しよう】(41ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

それでも表示されない場合は、【サポートソフトの削除】(74ページ)の手順を行ってください。

その後、【インストールしよう(Mac OS 8/9のみ)】(38ページ)の手順を行ってください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	
本製品を接続する	次ページ
本製品を取り外す	
MOディスクの操作	46ページ
MOディスクを初期化する	48ページ

本製品の電源を入れる

● 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に動かします。

②電源ランプが点灯したことを確認します。

参考

電源を入れるタイミングについて

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでも本製品の電源を入れられます。

本製品の電源を切る

●パソコン→本製品の順に電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(47ページ)をご覧ください。

2 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。

②電源ランプが消えたことを確認します。

●パソコンの電源を切らずに本製品の電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(47ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

3 本製品の電源を切ります。

①電源スイッチを「OFF」側に動かします。
②電源ランプが消えたことを確認します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(前ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

MOディスクの操作

●MOディスクを挿入する

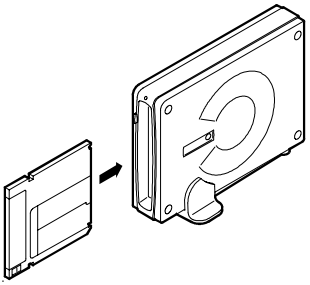
DOSフォーマットのMOディスク(Mac OS Xのみ)

下記の制限があります。

- 540Mバイトまでの MOディスクのみ、お使いいただけます。
- ボリュームラベルが半角英数字の MOディスクのみ、お使いいただけます。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

⇒アクセスランプが点灯後、消灯します。



MOディスクの金属部分を持たないでください

静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

●MOディスクを取り出す

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(57ページ)をご覧ください。

MOディスクを初期化する

フォーマッタソフトについて

フォーマッタソフトによっては、USB機器に対応していないことがあります。ご注意ください。

（フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無く使えます）

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合

そのMOディスクを使わないでください。

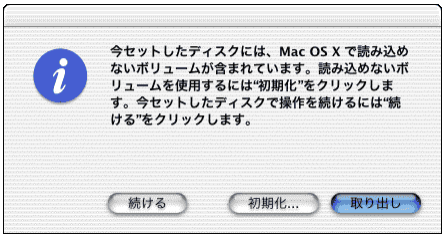
●Mac OS Xの場合

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

いきなり下の画面が表示されることがあります。

その場合は、［初期化］ボタンをクリックし、次ページの手順4にお進みください。



2 ［Applications］を開きます。

①起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。

②［アプリケーション］ボタンをクリックします。

3 ［Disk Utility］を起動します。

［Utilities］フォルダー→［Disk Utility］の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック



4 本製品を選択します。

本製品を見分ける方法については、下の参考をご覧ください。



本製品を見分ける方法

本製品を選択したとき、右の［情報］タブに下記のように表示されます。

ディスクの説明： FUJITSU MCx3xxxUA Media

※ xには英数字が入ります。

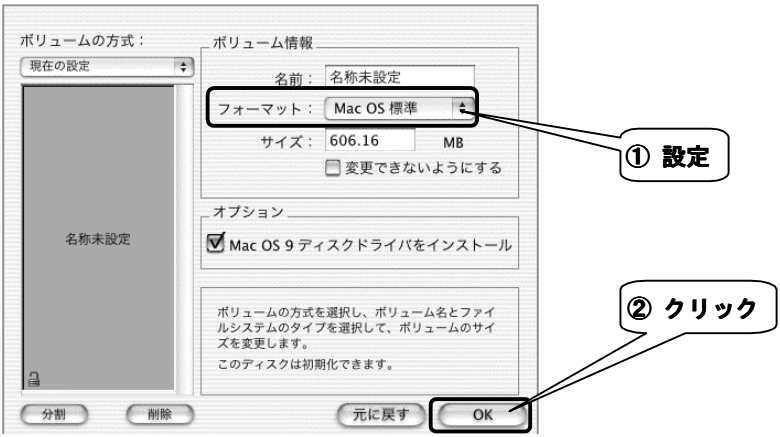
5 ［パーティション］タブをクリックします。



6 本製品を初期化します。

①［フォーマット］を［Mac OS標準］に設定します。

②［OK］ボタンをクリックします。

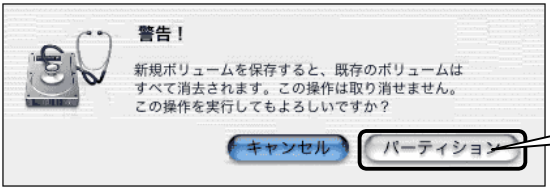


［UNIXファイルシステム］には設定しないでください

UNIXファイルシステムには対応しておりません。

7 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。



本製品で初期化したMOディスクは
Mac OS上で有効な他のMOドライブでも使えます。
ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

●Mac OS 8/9の場合

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

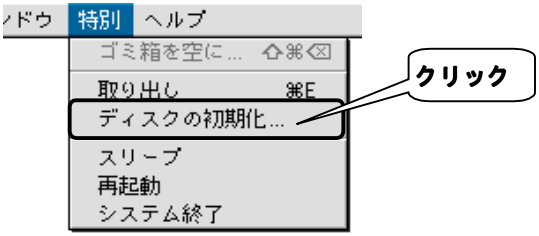
いきなり手順4の画面になることがあります。
その場合は、次ページの手順4にお進みください。

2 MOディスクのアイコンをクリックします。

3 ［ディスクの初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスクの初期化］をクリックします。

※[装置の初期化]と表示されている場合がありますが、同様にクリックします。



4 初期化を行います。

①［名前］にMOディスクに付ける名前を入力します。
②［フォーマット］を選択します。
③［初期化］ボタンをクリックします。
⇒MOディスクの初期化が始まります。



初期化できない
【MOディスクを初期化できない】(62ページ)をご覧ください。

［フォーマット］の選択について
フォーマットには［Mac OS標準］を選ぶことをおすすめします。

本製品で初期化したMOディスクは
Mac OS上で有効な他のMOドライブでも使えます。
ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

DOS形式を選択して初期化したい場合は
Windowsでフォーマットしてください。

DOS形式フォーマットのみ選択可能の場合は
Windowsでフォーマットしてください。

Memo

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・54

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

権限変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・67

Windows XP,Windows 2000で権限を変更する方法を説明します。

RINGOWIN LE ・・・・・・・・・・・・・・・・・71

RINGOWIN LEについて説明します。

Windows Me/98とMac OSでのデータ交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・72

Windows Me/98とMac OSでデータを交換する方法を説明しています。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・74

サポートソフトの削除方法を説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・80

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・81

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない	５５
MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	５６
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	
MOディスクにファイルの書き込みができない	
MOディスクを読み書き中は、他のUSB機器が認識されない	
MOディスクを挿入しても反応がない	５７
MOディスクを取り出せない	

Windows XP, Windows 2000でのトラブル

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属さないユーザーで、MOディスクのフォーマットや取り出しできない	５８
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	５９

Windows Me/98でのトラブル

ファイルの読み書きができない	６０
十分な空き容量があるのに書き込みができない	
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	６１
「MOフォーマット」が表示されない	

Mac OS 8/9でのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される	６２
640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された	
本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
MOディスクを初期化できない	
データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	６３
MOディスクのアイコンが変わってしまった	

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない

原因１ **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ **MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)**

MOディスクを挿入してください。(46ページ参照)

原因３ **接続するUSBポートによっては認識されない**

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因４ **正常に認識されていない**

【確認しよう】(19, 42ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因５ **他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の動作が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因６ **ソフトウェアが正しくインストールされていない**

【サポートソフトの削除】(74ページ)をご覧になり削除した後、もう一度インストール(10, 38ページ)してください。

原因７ **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98のみ)**

【ドライブ名の予約】(64ページ)をご覧ください。

原因８ **機能拡張が競合している(Mac OSのみ)**

【機能拡張の競合解消方法】(65ページ)をご覧ください。

MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドが汚れている**

【●本製品内部のクリーニングについて】(viページ)をご覧になり、本製品のヘッドをクリーニングしてください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 **長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを読み書き中は、他のUSB機器が認識されない

原因 **本製品がUSBのデータ転送幅を全て使っている**

この場合すぐには、認識されません。MOディスクの読み書きが終わるまでお待ちください。

MOディスクを挿入しても反応がない

原因１　他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（USBビデオキャプチャ製品が動作しているなど）

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の動作が終わった時点でMOディスクを使えるようになります。

原因２　動作がおかしくなっている

他のUSB機器が動作していない場合、USBポートに接続している本製品を抜き挿ししてください。

MOディスクを取り出せない

原因１　パソコンの電源が入っていない

電源を入れたパソコンに接続した状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２　機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコンの電源を切ってから、MOドライブの電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25㎜ほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

Windows XP, Windows 2000でのトラブル

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属さないユーザーで、MOディスクのフォーマットや取り出しできない

原因1　権限が全てのユーザーにない

Windows標準設定では、コンピュータの管理者(Administrator)グループに属さないユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。

Windows XP Professionalの場合

【権限変更】(67ページ)をご覧になり、ローカルポリシーの設定を「Administrators と(and) Interactive Users」にしてください。

Windows XP Home Editionの場合

権限変更はできません。コンピュータの管理者グループに属するユーザーでお使いください。

Windows 2000の場合

【権限変更】(67ページ)をご覧になり、設定を「全てのユーザー」にしてください。

原因2　本製品を接続したまま起動していない

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、電源の入った本製品を、USBポートに接続した後でWindowsを起動してください。



一度本製品を取り外すと

もう一度接続し直しても、フォーマットや取り出しはできなくなります。
その場合、Windowsを再起動してください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因

本製品では、NTFSのフォーマットは使えない

本製品では、NTFS形式でフォーマットされたMOディスクは
お使いいただけません。

Windows Me/98でのトラブル

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

1)MOディスク内のデータが必要ない場合は、【MOディスクをフォーマットする】(29ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全て無くなります）

2)Mac OSのフォーマット形式の場合は、Mac OS側でWindowsフォーマットのMOディスクを使ってデータを移してください。

※ ただし、Mac OSでフォーマットしたMOディスクはWindowsでは認識できません。

十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因 **ルートフォルダに置くことのできるファイル数を超えている**

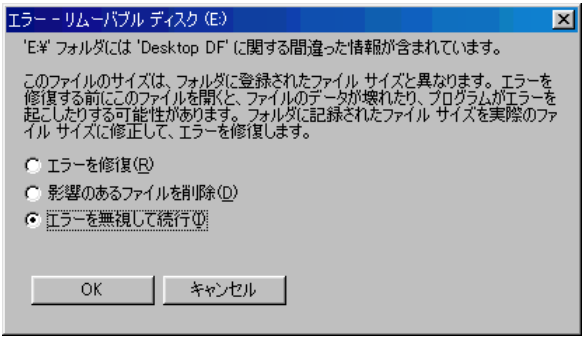
ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことのできるファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事ができなくなります。その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダを作ってください。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。

この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



「MOフォーマット」が表示されない

原因 **MO用ソフトウェアのインストールが正しく行われていないか、設定が正しくない**

［スタート］→［プログラム］→［MOシリーズサポートソフト］があるかどうか、確認します。

無い場合は、【Windows Me/98の場合】(15ページ)を行います。

ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

すでに「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(74ページ)の作業を行い、その後、もう一度【Windows Me/98の場合】(15ページ)を行ってください。

Mac OS 8/9でのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 DOSフォーマットのMOディスクを読み書きした

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式）のMOディスクを読み書きしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640Mバイト以上のMOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 Mac OSの仕様のため

640Mバイト以上のMOディスク上に対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、問題なく使えます。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 Mac OSではUSB機器からの起動はできない

MOディスクを初期化できない

原因 AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因１ File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。



原因２ 認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

MOディスクのアイコンが変わってしまった

原因 環境によっては、MOディスクを挿入したまま起動すると標準ドライバが適用される

この場合は、MOディスクを取り出して、Mac OSを再起動してください。

このような現象が発生する環境では、MOディスクを挿入したまま起動しないでください。

ドライブ名の予約

これは、【本製品のアイコンが表示されない】(55ページ)の問題解決のための手順の１つです。

1 「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。

【確認しよう】(19ページ)の手順を参考に、［ディスクドライブ］の下にある「MOドライブのドライバ」をダブルクリックします。

「MOドライブのドライバ」の表示

「FUJITSU MCx3xxxUA」と表示されます。

※ xには英数字が入ります。

2 ［設定］タブをクリックします。

3 「予約ドライブ文字」を設定します。

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 Windowsを再起動します。

機能拡張の競合解消方法

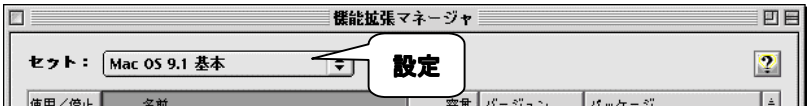
これは、【本製品のアイコンが表示されない】(55ページ)の問題解決のための手順の１つです。手順例は、Mac OS 9.1のものです。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 ［セットの複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 B'sCrew miniのドライバに［×］を付けます。

［B'sCrew FW DVD-RAM］、［B'sCrew FW HD］、［B'sCrew FW MO］、［B'sCrew FW RBC］、［B'sCrew USB Driver］、［B'sCrew USB Shim］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。



6 本製品の動作を確認します。

MOディスクを本製品に挿入し、MOディスクのアイコンが画面に表示されることを確認します。

また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。

動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

権限変更

ここでは、Windows XP, Windows 2000で権限を変更する方法について説明します。この設定をすれば、コンピュータの管理者（Administrator）グループに属さないユーザーでもMOディスクをフォーマット／取り出しできるようになります。

他のリムーバブルメディアをお使いの場合
本作業はOSの設定です。
他のリムーバブルメディアも同様に権限変更されます。
不都合がある場合は、設定を元に戻してください。

手順	
Windows XPの場合	本ページ
Windows 2000の場合	70ページ

Windows XPの場合

Windows XP Home Editionでお使いの場合
本作業（権限変更）はできません。
コンピュータの管理者グループに属するユーザーでお使いください。

1 コンピュータの管理者でログオンします。

コンピュータの管理者グループに属するユーザーでログオンします。

2 「コントロールパネル」を起動します。

［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

3 「管理ツール」を起動します。

［パフォーマンスとメンテナンス］→［管理ツール］の順にクリックします。
⇒［管理ツール］が起動されます。

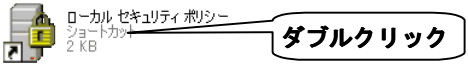
順にクリック



4 ［ローカルセキュリティ設定］を開きます。

［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックします。

⇒［ローカルセキュリティ設定］が起動されます。



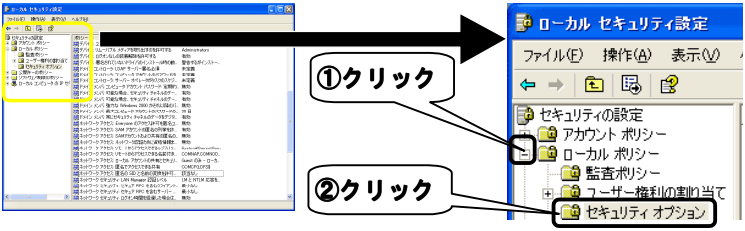
5 「セキュリティオプション」を開きます。

①［ツリー］内にある［ローカルポリシー］の左横の ⊞ をクリックします。

⇒ ⊟ になり、［ローカルポリシー］の下が表示されます。

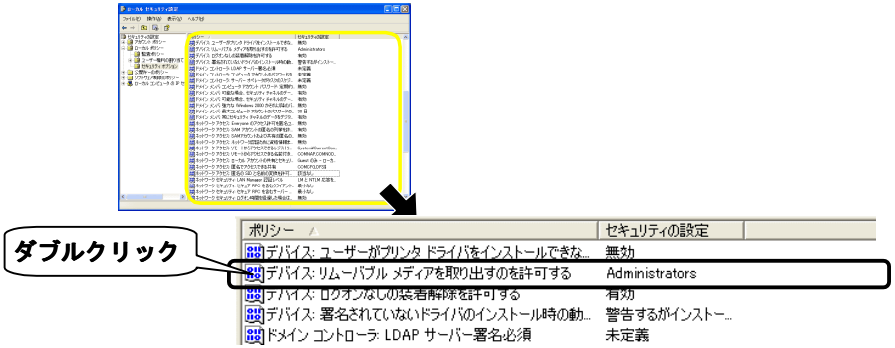
②表示された［セキュリティオプション］をクリックします。

⇒右側に「セキュリティオプション」の内容が表示されます。



6 MOディスクの取り出しに関する設定を開きます。

［デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する］をダブルクリックします。

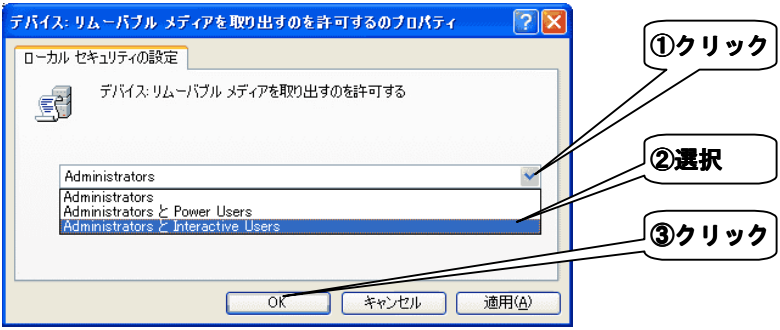


7 ローカルポリシーの設定を変更します。

①［ローカルセキュリティ（ポリシー）の設定］の中にある▼をクリックします。

② 希望する設定を選択します。

③［OK］ボタンをクリックします。



ローカルポリシーの設定について

フォーマット／取り出しを許可するユーザーによって設定が異なります。

・コンピュータの管理者グループに属するユーザー

[Administrators]

・全てのユーザー

[Administrators と Interactive Users]

8 「ローカルセキュリティ設定」を閉じます。

右上の×をクリックします。

⇒「ローカルセキュリティ設定」が閉じます。

9 パソコンを再起動します。

⇒以上で、フォーマット／取り出しできる権限が変更されました。

ユーザー権限の場合

パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。フォーマット／取り出しが正常にできなくなるおそれがあります。

フォーマット／取り出しができない場合は、一度コンピュータの管理者グループに属するユーザーでログオンしなおすか、Windowsを再起動してください。

Windows 2000の場合

1 Administratorでログオンします。

Administratorグループに属するユーザーでログオンします。

2 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

3 権限を変更します。

「グループ」でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。



グループの設定について

フォーマット／取り出しを許可するユーザーによって設定が異なります。

・Administratorグループに属するユーザー
　［Administratorメンバー］
・全てのユーザー
　［全てのユーザー］

4 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。フォーマット／取り出しできる権限が変更されました。

ユーザー権限の場合

パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。
フォーマット／取り出しが正常にできなくなるおそれがあります。
フォーマット／取り出しができない場合は、一度Administratorグループに属するユーザーでログオンしなおすか、Windowsを再起動してください。

RINGOWIN LE

「RINGOWIN LE」について説明します。

RINGOWIN LEとは？

下記のことが可能な、Windows Me/98用ソフトウェアです。
これがあれば、WindowsとMacintoshのデータを交換することができます。

・Macintoshでフォーマットされ たMOディスクを読みとる
・Macintoshでフォーマットされ たMOディスクに書き込む
・Macintosh形式も含めたMOディスクのフォーマット

RINGOWIN LEのインストール

【インストールしよう①】(10ページ)をご覧になり、［RINGOWIN LE］ボタンをクリックしてください。
詳細については、オンラインマニュアルをご覧ください。



オンラインマニュアルについて

・オンラインマニュアルは、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にある下記のファイルです。
　　－ RINGOWIN（テキスト形式）
　　－ RWLE_1, RWLE_2, RWLE_3（Word形式）
・Word形式のオンラインマニュアルで、画面データなどを見づらい場合は、表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。

RINGOWIN LEの使い方

オンラインマニュアルをご覧になるか、「RINGOWIN LE」の実行中にヘルプをご覧ください。

Windows Me/98とMac OSでのデータ交換

Mac OSとWindows Me/98とでデータを交換する方法について説明しています。

データ交換の方法

MOディスクを下記の方法でフォーマットすることで、両方のOSで読み書きできるようにします。

MOディスクのフォーマット

●128～540Mバイトの MOディスク

WindowsでフォーマットしたMOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

●640Mバイトの MOディスク

Windows上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットしたMOディスクをお使いください。

●1.3Gバイト以上の MOディスク

データ交換にはお使いいただけません。



Mac OSで頻繁に使うMOディスクは

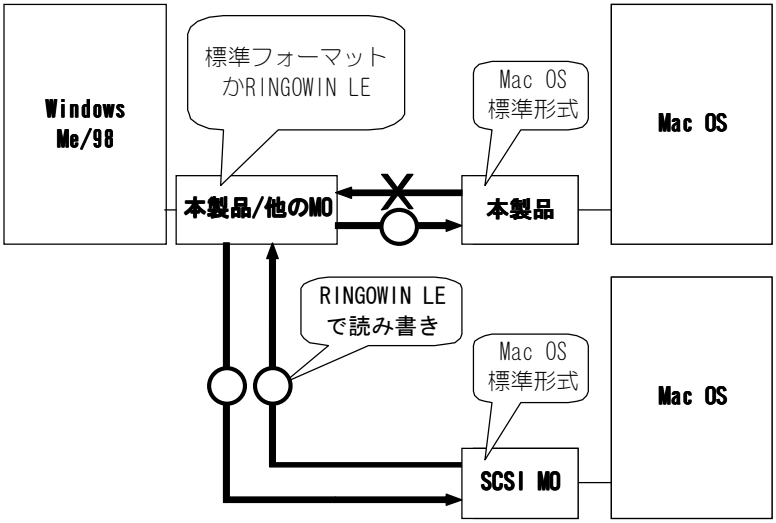
容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをおすすめします。
ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。

DOS形式について

Mac OSにてDOS形式の初期化を行うことはおすすめいたしません。
Windowsにてフォーマットを行ってください。

参考

●読み書き可能なフォーマット形式、MOドライブ相関表



●Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

参考

記号の説明

○·····可
×·····不可
△·····可だが、おすすめしない

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

操作	
Windows XP, Windows 2000の場合	本ページ
Windows Me, Windows 98の場合	76ページ
Mac OSの場合	79ページ

Windows XP, Windows 2000の場合



本作業をするときは・・・
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 「コントロールパネル」を起動します。

Windows XPの場合

［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

Windows 2000の場合

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

2 追加と削除の画面を起動します。

Windows XPの場合

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000の場合

［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

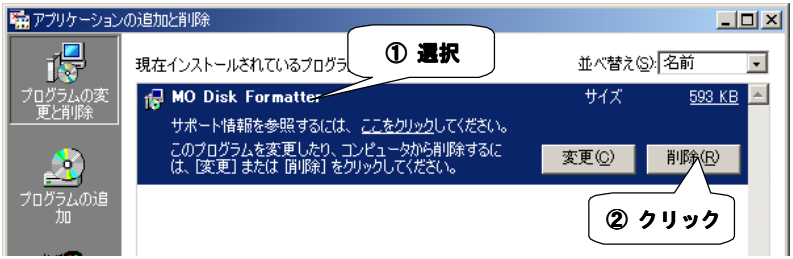
3 MOソフトウェアを指定します。

Windows XPの場合

［MO Supplement for XP］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合

［MO Disk Formatter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。



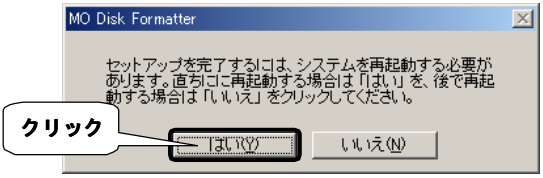
4 ［はい］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。

これで「MO用ソフトウェア」の削除は完了です。



Windows Me, Windows 98の場合

操作	
●Win98用USBドライバの削除	本ページ
●MOソフトウェアの削除	78ページ

●Win98用USBドライバの削除

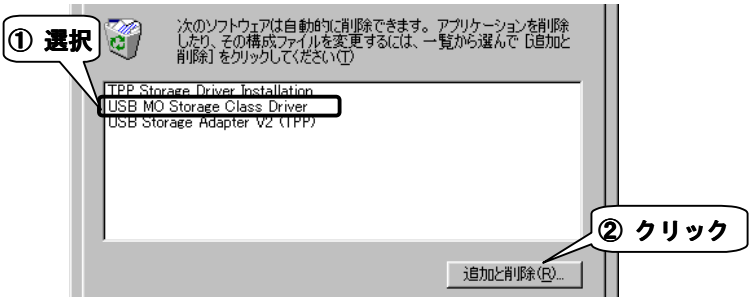
1 「コントロールパネル」を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

3 ［USB MO Storage Class Driver］を指定します。

［USB MO Storage Class Driver］を選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。



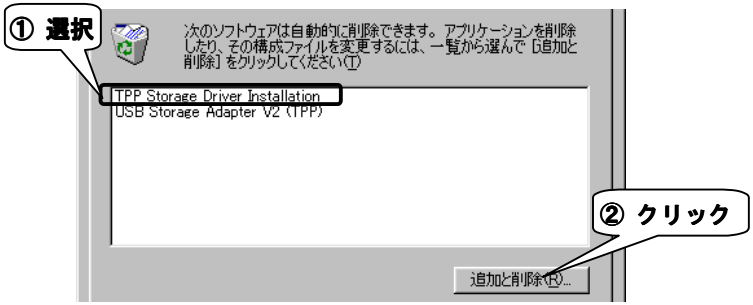
4 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［USB MO Storage Class Driver］がリストから消えます。



5 [TPP Storage Class Driver]を指定します。

[TPP Storage Class Driver]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。



6 [OK]ボタンをクリックします。

⇒[TPP Storage Class Driver]と[TPP Storage Adapter V2(TPP)]がリストから消えます。



7 パソコンを再起動します。

⇒これで「Win98用USBドライバ」の削除は完了です。

本手順後に他のUSB機器の認識が異常になる場合は

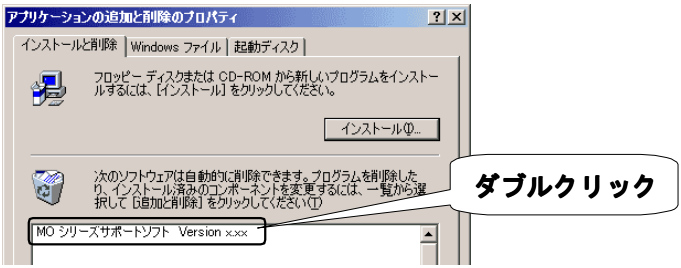
認識が異常になったUSB機器のインストールをもう一度行ってください。

●MOソフトウェアの削除

1 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

2 「MOシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。

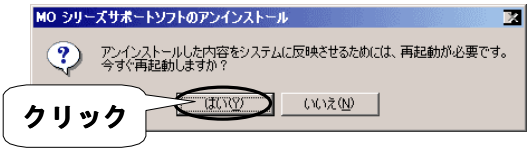


3 ［設定完了］ボタンをクリックします。

4 ［完了］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



これで「MOソフトウェア」の削除は完了です。

Mac OSの場合

1 本製品をUSBポートから取り外します。

（【本製品を取り外す】(45ページ)参照）

2 ［機能拡張］を開きます。

［起動ボリューム］→［システムフォルダ］→［機能拡張］の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック



3 B'sCrew miniのドライバを削除します。

機能拡張の中にある［B'sCrew FW DVD-RAM］、［B'sCrew FW HD］、［B'sCrew FW MO］、［B'sCrew FW RBC］、［B'sCrew USB Driver］、［B'sCrew USB Shim］をゴミ箱に捨てます。

ゴミ箱に捨てる



4 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これで「USBドライバ」の削除は完了です。

参考

「機能拡張マネージャ」を起動すると･･･

「このセットの中にコンピュータにインストールされていない機能拡張があります」と表示されます。表示された画面にあるどちらのボタンをクリックしても問題ありません。

※［OK］ボタンをクリックするとインストールされていない機能拡張の情報が保存されます。

用語解説

USB(Universal Serial Bus)［ユーエスビー］

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。
「USB 1.1」と「USB 2.0」の2つのバージョンがある。
特長として、接続のしやすさ、増設のしやすさなどがあげられる。

最大転送速度（理論値）



フォーマット

MOディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

ハードウェア仕様

●MOC-U640

インターフェイス	USB 1.1対応
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※バイト ※オーバーライト対応ディスクを含む
セクタサイズ	・128/230/540MバイトのMOディスクは512バイト ・640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	23ms
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度	12Mビット/Sec（理論値）
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	115(W) × 157.5(D) × 32(H)mm
ケーブル長	１ｍ
質量	約670g（ACアダプタ含まず）

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	http://www.iodata.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOC-U640」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3688　東京　03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

サポートライブラリ　http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「MOC-U640」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

MOC-U640 取扱説明書
2002.Apr.11 107383-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001-2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。